

プレスリリース



福島県立美術館

2025年1月25日(土)~3月9日(日)

開催要項

【展覧会名】

日本中の子どもたちを笑顔にした絵本作家 かがくいひろしの世界展

【主催・会場】

福島県立美術館 企画展示室（福島市森合字西養山1番地）

【特別協力】

加岳井久美子、渡辺直子、加岳井武志、ブロンズ新社、沖本敦子、山崎敬三

【協力】

講談社、PHP 研究所、佼成出版社、教育画劇、偕成社、玄光社、白泉社、
特種東海製紙、絵本ナビ、人形劇団プーク、ロバの音楽座、福島大学、福島
学院大学、福島県立図書館

【会期】

2025年1月25日(土)～3月9日(日) *会期37日間

【休館日】

月曜（2月24日は開館）、2月12日(水)、2月25日(火)

【観覧料】

一般・大学生：600（500）円、中・高校生：300（200）円、小学生以下：無料*（ ）内は20名以上の団体料金

【連絡先】

福島県立美術館学芸課

電話：024-531-5511、FAX：024-531-0447

白木（shiroki.yuumi@fcs.ed.jp）、

宮武（miyatake.hiroshi@fcs.ed.jp）、

齋藤（saito.megumi@fcs.ed.jp）

展覧会概要

刊行からわずか16年で、累計発行部数1000万部を超える金字塔を打ち立てた絵本「だるまん」シリーズ。作者・かがくいひろしは50歳にして遅咲きの絵本作家デビューを果たすや、驚異的なスピードで16作品を次々と描きあげ、54歳で世を去りました。その間、わずか4年。まさに彗星のごとく絵本界を駆けぬけた作家でしたが、実は彼が特別支援学校のベテラン教員であったこと、『だるまんが』をはじめとする絵本が、障がい児教育の現場経験から生み出されたものであることはあまり知られていません。没後初めて彼の軌跡をふりかえる本展では、絵本原画やアイデアノートとともに、教員時代に手がけた教材や人形劇の貴重な記録をひもとき、今この瞬間にも日本中の子ども達を笑顔にし続けているかがくい絵本のルーツに迫ります。

かがくいひろし（加岳井広 1955－2009）

1955年東京都生まれ。東京学芸大学教育学部美術学科卒業。千葉県下の特別支援学校で28年にわたり教鞭をとる傍ら、人形劇の公演活動や紙を使った立体作品の制作・発表を行う。50歳のときに応募した絵本『おもちのきもち』で、第27回講談社絵本新人賞を受賞し、絵本作家となる。以降、2009年に病で急逝するまでの4年間に、『もくもくやかん』、『みみかきめいじん』、『おむすびさんちのたうえのひ』、「だるまん」シリーズ、「まくらのせんにん」シリーズ、『がまんのケーキ』など、数々の絵本を発表。遺された16冊は今なお版を重ね続け、子どもたちに愛されている。



撮影／大志摩洋一

みどころ

絵本 16 作品すべての原画を展示！

絵本作家として活動したのはわずか4年だけでしたが、かがくいの中にはアイデアが溢れるほどに詰まっていた。4年間でなんと16作品（没後刊行含む）、驚異的なスピードで描き、世に送り出した絵本は、どれ一つ絶版になることなく、今も読み継がれています。



『だるまさんが』2008年
ブロンズ新社



『おもちのきもち』原画
2004-05年
©HiroshiKagakui/KODANSHA



『なつのおとずれ』原画 ©Hiroshi Kagakui
／PHP 研究所 2008年

「だるまさん」シリーズの続編も！ 未完作品を一挙公開

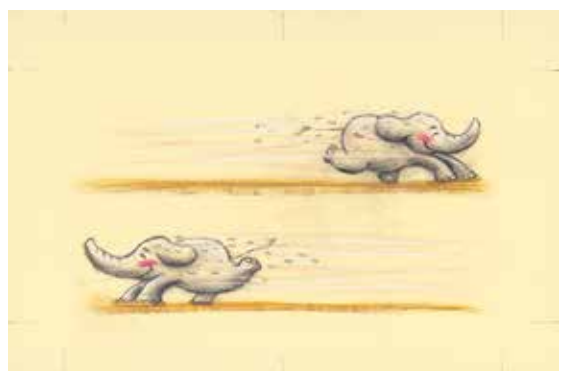
「あと3年は（絵本にできる）ネタがあるよ」と語っていたかがくい。だるまさんやまくらのせんになん続編をはじめ、数々のおもしろい構想をラフ・習作としてのこしています。会場でしか目にすることができない未完の絵本の卵たちに、会いに来てください。



未完「だるまさんがたべた」



未完「ふゆのおとずれ」



未完「ぞうきんがけとぞうさんがけ」

絵本のルーツ

～かがくい先生の横顔、教員時代の資料～

かがくいは特別支援学校の先生でした。28年間にわたり、様々な障がいのある子どもたちと過ごすなかで、どうしたら興味をもつか、笑ってくれるか、懸命に考え、工夫を凝らした教材をつくりました。動くものに興味を示す子が多いことに気づき、人形劇も手がけました。

展覧会では、奇跡的に残っていた教員時代の資料や映像をひもとき、かがくい先生の横顔と絵本のルーツに迫ります。



撮影：黒澤義教

創作の後景

～81冊のアイデアノート、家族へのまなざし～

かがくいは、いつもノートやスケッチブックを持ち歩き、興味を魅かれたものやアイデア、予定や雑記など、何でもメモする人でした。こうしたメモのいくつかを組み合わせ、ラフを描きながら構想を練り、絵本に仕上げていったのです。のこされた81冊のアイデアノートから、かがくいの頭の中をのぞいてみましょう。



撮影：松尾潤



撮影：黒澤義教

だるまさんと一緒にあそぼう！ 映像アトラクション

会場限定で、だるまさんを始めとするかがくい絵本のキャラクター達が登場するアニメーションを公開します。

神戸ファッション美術館でのようす➡



関連イベント

○講演会「かがくいひろし『マイフェイバリット』から見えてくるもの―」

講師：水島尚喜氏（聖心女子大学教授、本展監修者）

日時：2025年1月25日（土）14：00～15：30

会場：当館講堂

○講演会「かがくいひろしの絵本づくりのひみつ」

講師：沖本敦子氏（子どもの本の編集者 かがくいひろし担当編集者）

日時：2025年2月9日（日）14：00～15：30

会場：当館講堂

※講演会はいずれも聴講無料。事前申し込みは不要です。当日は13：30より開場します。

○「ちいさなおはなしかい」

日時：1月29日（水）、2月5日（水）10：30～30分程度

対象：0才～3才ごろの子どもと、その保護者

会場：当館企画展示室

協力：福島県立図書館

※保護者は企画展チケットが必要です。事前申し込みは不要です。

○ワークショップ「親子でだるまさんをえがこう」

日時：2月2日（日）①10：00～12：00 ②14：00～16：00

対象：5才～小学生とその保護者 ①②それぞれ8組まで ※はさみをつかいます

材料費：300円

会場：当館実習室

※事前申し込みが必要です

○大学生による人形劇上演会

主催：福島県立美術館

協力：人形劇団プーク、国立大学法人福島大学、福島学院大学

日時：2月22日（土）、23日（日）※各日3公演

① 11：00～11：30 ② 13：30～14：00 ③ 15：00～15：30

※企画展チケットが必要です。事前申し込みは不要です